

1st Step for Network study

2025-7-29(火)17:30 - 19:00

OHDSI Japan イブニングカンファレン ス2025年7月 **OHDSI**



第79回日本食道学会学術集会 The 79th Annual Meeting of the Japan Esophageal Society

リアルワールドデータを極める!

~J-CONNECT:がんRWDコンソーシアムの現状と課題~

RMDKED

京都大学 大学院 医学研究科 リアルワールドデータ研究開発講座

DEPARTMENT OF REAL WORLD DATA R&D,

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, KYOTO UNIVERSITY

繁巳



2025/06/27 京都







HP: http://www.rwd.kuhp.kyoto-u.ac.jp/

RWD extraction from Cancer Patient Journey



病理(免疫染色) 腫瘍マーカー CT等画像データ

遺伝子パネル検査 バイオマーカー アウトカム 時系列データ 有効性と安全性

Omics data が重要らしい?

CTCAEによる副作用評価:悪心・しびれ・下痢・・・

Onset Dx.

1st line

2nd line

3rd line







Claudin IHC (-) Her2 IHC (3+) PD-1 < 1 MSS

Liver meta (10%)

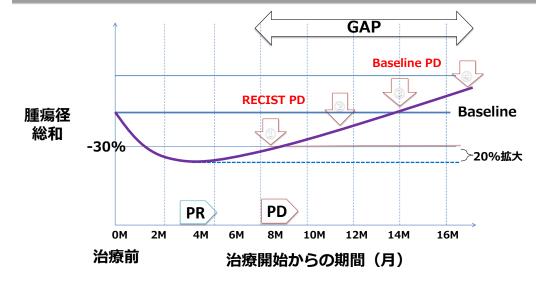




RECIST PDと実臨床での治療変更タイミング

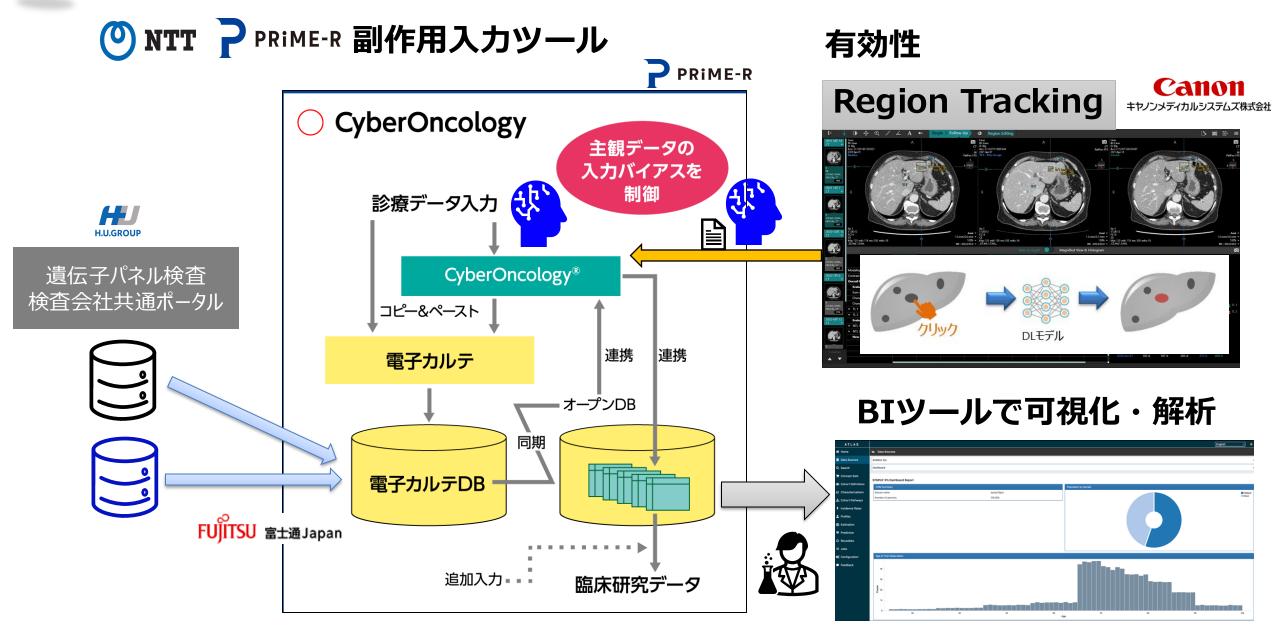
RECISTによる効果判定







RWDに求められる有効性と安全性データ収集・生成→可視化



AMED 革新的医療技術研究開発推進事業(産学官共同型)スタートアップタイプ R6年度AIMGAIN採択課題

がん診療の質の向上と研究開発に資するリアルワールドデータプラットフォーム開発

研究代表者 武藤 学



【U P 京都大学医学部附属病院















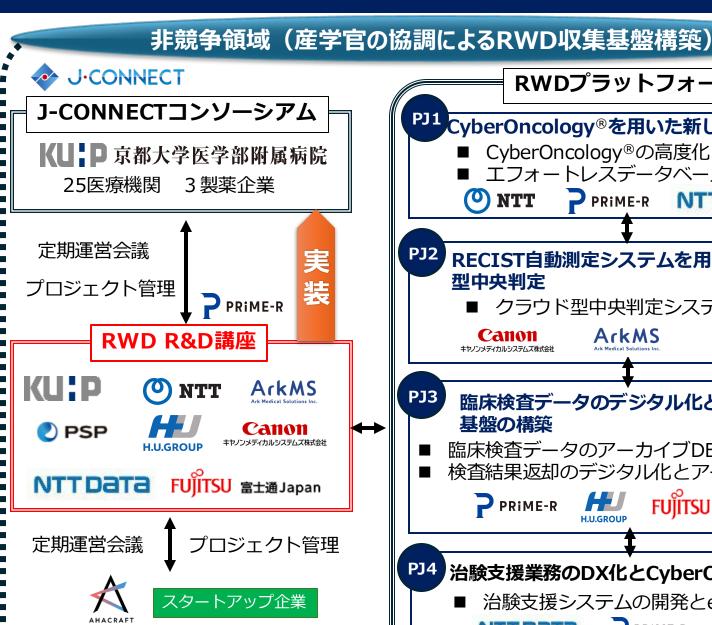








AIMGAIN事業



RWDプラットフォーム

- PJ1 CyberOncology®を用いた新しいRWD収集
 - CyberOncology®の高度化
 - エフォートレスデータベース化技術開発





PRIME-R NTT Data

- RECIST自動測定システムを用いたクラウド 型中央判定
 - クラウド型中央判定システム開発

Canon





- 臨床検査データのデジタル化とアーカイブ 基盤の構築
- 臨床検査データのアーカイブDB開発
- 検査結果返却のデジタル化とアーカイブ連携

PRIME-R



FUJITSU 富士通Japan

- 治験支援業務のDX化とCyberOncology連携
 - 治験支援システムの開発とeSource連携

NTTData



競争領域





NTTData

RWDプラットフォーム事業 RWDデータ解析事業

Canon

キセノンメディカルシステムズ株式会社

クラウド型Region Tracking™ サービス事業 (CRO向け、医療機関向け)

ArkMS



イメージングCRO事業 (CRO向け、アカデミア向け) 臨床試験向けクラウドPACS事業



FUÏTSU 富士通Japan

臨床検査デジタルサービス事業

NTTData



臨床試験支援システムDx事業

J-CONNECT コンソーシアム(2023年4月設立)

✓ 京大病院を中心とした、がん登録データを活用した多施設共同研究基盤 電子カルテデータ+院内がん登録+レセプト等をエフォートレスで蓄積

製薬企業の参画による新たな研究基盤として「J-CONNECT」を開始

CONNECT-2:後向きがん登録コホート がん診療に関する院内リアルワールドデー 夕の網羅的収集および利活用に関する 多施設共同研究

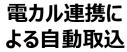
CONNECT-2試験

- ▶ 院内がん登録データの取り込み
- ▶ ツールを用いて大量のデータを収集



院内がん登録データ







臨床検査値 処方·注射





•病理レポート

・放射線レポー」

データ利活用の拡大

RWD・統計データ

AI・LLM活用による バイオマーカ等取込み

J-CONNECT 基盤

技術支援



資金的支援

製薬企業等

学術研究 の加速

医薬品 開発の加速

- > 症例検索 (患者リクルート)
- > マーケティング
- > 臨床研究時の ベースデータ

J-CONNECT 参加25施設

参加施設

♦	事務局	京都大学医学部附属病院

医療機関 25施設

CyberOncology®導入済み

製薬企業 3社(共同研究契約済み)

・武田薬品工業

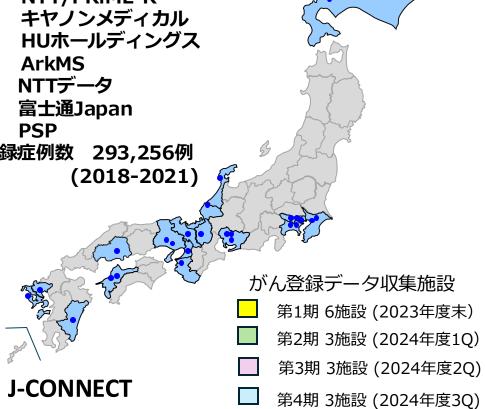
・中外製薬

・アストラゼネカ

産官学共同研究企業

NTT/PRIME-R

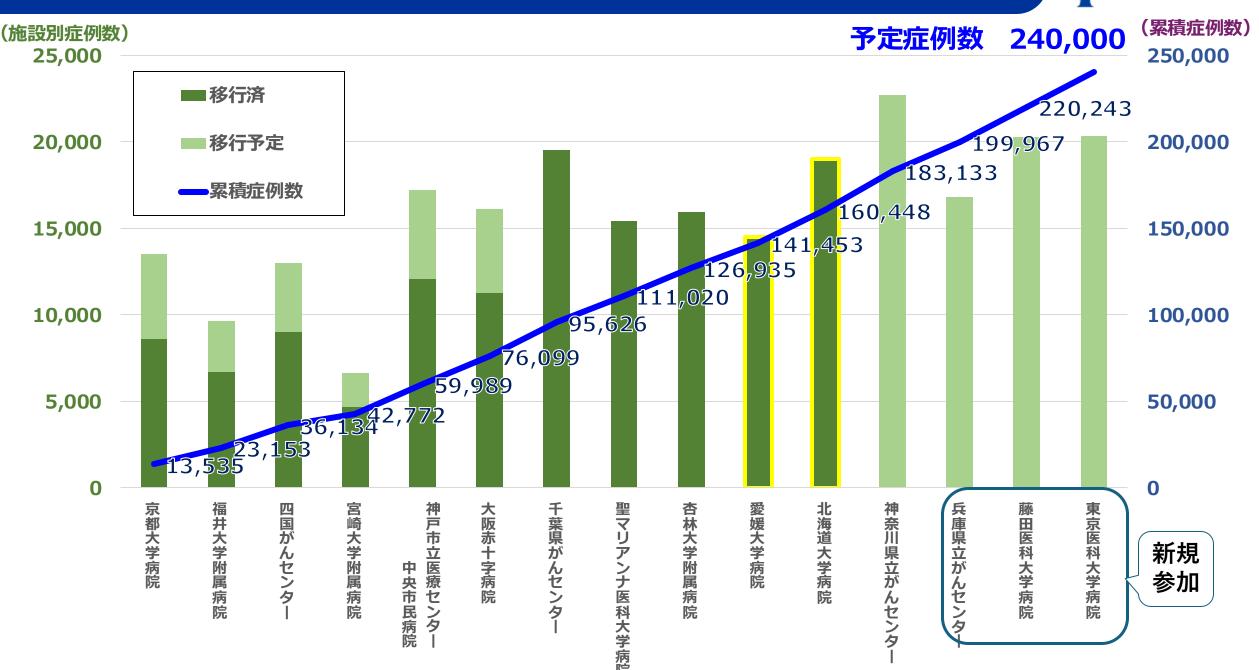
がん登録症例数 293,256例



	都道府県	医療機関名	主担当診療科名
1	北海道	北海道大学病院	腫瘍内科(がん遺伝子診療部)
2	東京都	杏林大学医学部付属病院	腫瘍内科
3	東京都	慶應義塾大学病院	腫瘍センター ゲノム医療ユニット
4	東京都	東京医科大学病院	消化器内科
5	千葉県	千葉県がんセンター	診療部
6	千葉県	千葉大学医学部附属病院	食道・胃腸外科
7	神奈川県	神奈川県立がんセンター	血液・腫瘍内科
8	神奈川県	聖マリアンナ医科大学病院	腫瘍内科
9	愛知県	名古屋大学医学部附属病院	消化器外科
10	愛知県	愛知県がんセンター	薬物療法部
11	愛知県	藤田医科大学病院	呼吸器内科学
12	石川県	金沢大学病院	がんセンター
13	福井県	福井大学医学部附属病院	がん診療推進センター
14	大阪府	大阪赤十字病院	腫瘍内科
15	京都府	京都大学医学部附属病院	腫瘍内科
16	兵庫県	神戸市立医療センター中央市民病院	腫瘍内科
17	兵庫県	兵庫県立がんセンター	呼吸器内科
18	滋賀県	滋賀県立総合病院	腫瘍内科
19	和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院	第三内科
20	愛媛県	愛媛大学医学部附属病院	臨床腫瘍学
21	愛媛県	四国がんセンター	呼吸器内科
22	広島県	広島大学病院	遺伝子診療科
23	佐賀県	佐賀大学医学部附属病院	がんセンター
24	長崎県	長崎大学病院	臨床腫瘍科
25	宮崎県	宮崎大学医学部附属病院	臨床腫瘍科

がん登録データ移行数(2025年1月 実績·予定数)







CyberOncology OMOP-CDM化

定義一覧

患者CDM_Person

医薬品CDM_Drug_Exposure

観察期間CDM_Observation_Period

検体検査CDM_Measurement_for_LaboTest

死亡日CDM Death

最終生存確認日v_visit_occurrence

cdm_m_concept_icd10_code

cdm_m_mapping_uicc_tnm_stage

cdm_m_concept_oncotree

cdm_m_concept_icdo3_topography

cdm_m_concept_icdo3_histology_morphology

がん診断cdm_v_condition_occurrence

治療歴_手術

治療歴 放射線療法

治療歷_最良効果判定

有害事象名cdm_m_mapping_reaction_to_disorder

有害事象グレードCONCEPT

バイオマーカー(AI自動抽出)



CDM_M (変換マスタ)



CDM_TABLE



CDM

CDM M CONCEPT ADVERSE REACTION GRADE

CDM M CONCEPT ICDO3 HISTOLOGY MORPHOLOGY

CDM M CONCEPT ATC

CDM_M_CONCEPT_ICD10_CODE

CDM M CONCEPT ONCOTREE

CDM M MAPPING BIOMARKERS

CDM M MAPPING TO PERSON

CDM_M_CONCEPT_ICDO3_TOPOGRAPHY

CDM M MAPPING MEDICINE TO DRUG

CDM M MAPPING UICC TNM STAGE

CDM M YJ CODE TO CONCEPT ID

CDM M MAPPING REACTION TO DISORDER

6

6740

12227

1536

400

885

32

62051

852

10

274

27280

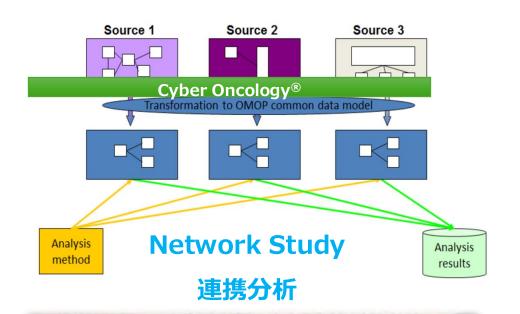
ONCOLOGY CONNECT



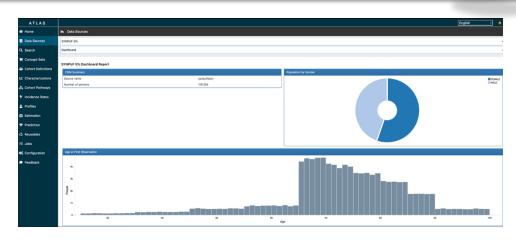
元データ

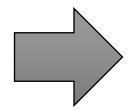
OMOP化により連携分析が可能→解析環境を整備し勉強会











CANCER EPIDEMIOLOGY, BIOMARKERS & PREVENTION | RESEARCH ARTICLE

Machine Learning and Real-World Data to Predict Lung Cancer Risk in Routine Care

Urmila Chandran^{1,2}, Jenna Reps¹, Robert Yang², Anil Vachani³, Fabien Maldonado⁴, and Iftekhar Kalsekar²



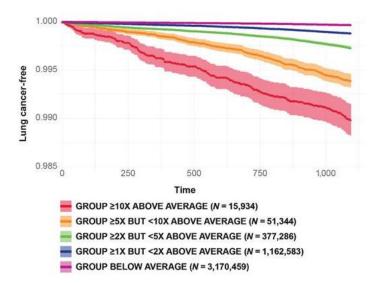






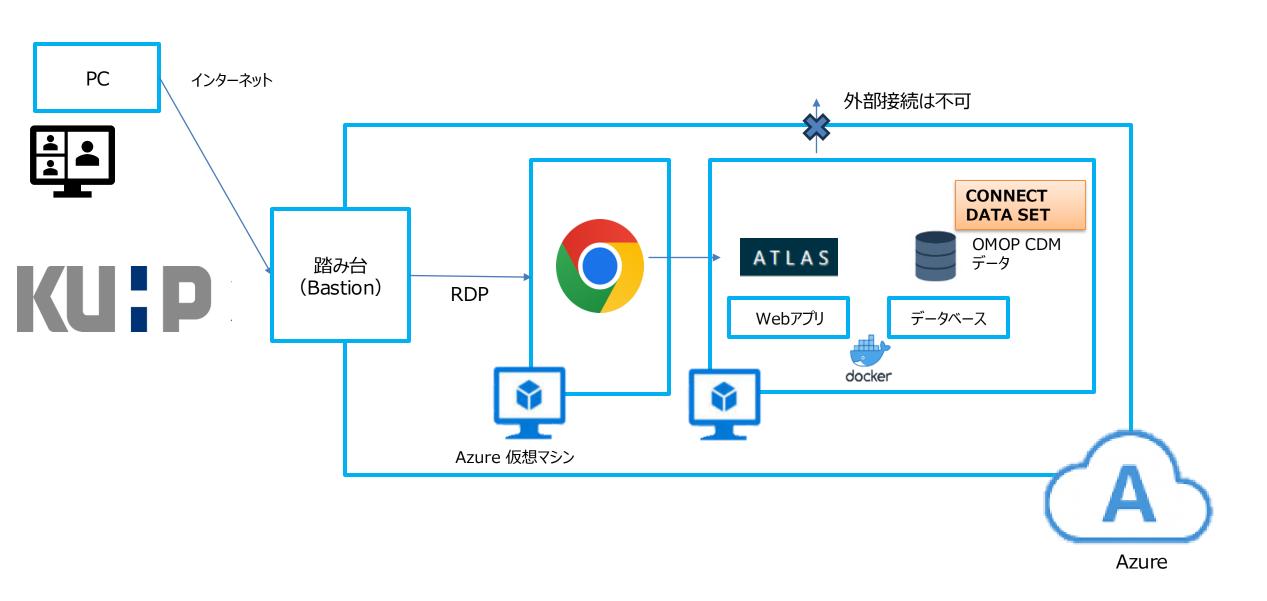






本日のシステム構成





ATLASで実施できること



ATLAS



M Home



Data Sources



Q Search



Concept Sets



Cohort Definitions



Characterizations



Cohort Pathways

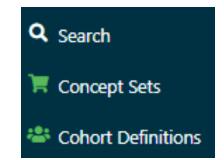
メニュー	実施内容
Data Sources	データに対する概要表示
Search	コンセプトの検索
Concept Sets	コホートを定義するためのConcept IDの集合を定義
Cohort Definitions	分析に使うコホートを定義
Characterizations	定義したコホートに対する特徴量を分析
Cohort Pathways	定義したコホートに対する経路を分析 (サンバースト図の描画)

今回のシナリオ

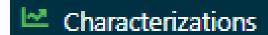


【対象コホート】

1. 2018-2023年の院内がん登録で**食道がん(ICD-10 C15.X)薬物療法あり**



【特徴量分析項目】



- 1. 年齡分布
- 2. 性別
- 3. 病理分類(ICD)
- 4. TNMステージ分布

【経路分析(サンバースト/サンキー図)】



- 1. 治療法(手術/放射線/放射線化学療法/化学療法)
- 2. 化学療法(oxaliplatin/cisliplatin/fluorouracil/docetaxel/paclitaxel)



ATLAS Demo



ネットワーク研究への課題

- 1. ATLASは容易ではなく慣れが必要。
- 2. データマネジメント・ETL
- がん登録ベースの問題
- 欠損データ
- レジメン・レスポンスや増悪日・治療変更理由
- 3. 多施設での固有マスタ検査データのOMOP化
- 4. 他のDBとの連携(NDB・Claim等)



Thank you!